

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	図画工作科教育法				
担当者氏名	笠川 武史、千家 宏子				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	2年・秋期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 専門基礎-2 豊かな人間性の醸成 ○ 専門基礎-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

図画工作教育は、その活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力の育成を目指す。そのために、①学習指導要領の内容を把握し、指導に必要な知識を身につける。②子どもの感性を育み表現力を引き出すために造形・色彩理論を身につけ、作品制作を通して自己表現力を高める。③学習指導案計画を作成し発表する。この3点を重要視する。

《授業の到達目標》

- ・図画工作科の役割や特性をふまえ、指導計画を立て、題材研究を行えるようにする。
- ・図画工作科の学習内容について指導上の留意点を理解し、指導のための造形及び色彩理論を身につける。
- ・計画や理論をもとに制作し、教育現場で実践していく力を培う。

《成績評価の方法》

- ・平常点(受講態度など) 20%
- ・学習内容のまとめやシート、実践作品の内容 50%
- ・最終課題(発表及び学習指導案、レポート)の内容 30%

《テキスト》

「明日の小学校教諭を目指して 子どもの資質・能力を育む 図画工作科教育法」 萌文書林

《参考図書》

適宜、資料を配布する。

《授業時間外学習》

- ・日頃から、造形・色彩分野に興味や関心を持っておく。
- ・学習指導要領については、授業に沿って予習と復習を自主的に十分行い、内容を把握する。
- ・作品制作については毎回の授業がつながるように、振り返りと次回に向けての準備と工夫を心掛ける。

《備考（教員経験の有無）》

この教科は、中学校の教員経験に基づき構成しています。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	ガイダンス	図画工作教育の意義と目的・目標・内容と構成
2	造形遊び(1)	領域「A表現」(1) ア：造形遊び～思考力、判断力、表現力～ 身近な材料の基礎
3	造形遊び(2)	領域「A表現」(2) ア：造形遊び～技能～ 身近な材料の応用
4	絵に表す(1)	領域「A表現」(1) イ：絵や立体、工作～思考力、判断力、表現力～ 構想画(1)
5	絵に表す(2)	領域「A表現」(2)イ：絵や立体、工作～技能～ 構想画(2)
6	立体・工作に表す(1)	領域「A表現」(1) イ：絵や立体、工作～思考力、判断力、表現力～ 木を使って
7	立体・工作に表す(2)	領域「A表現」(2) イ：絵や立体、工作～技能～ 石などを使って
8	鑑賞(情報機器を使用して)	領域「B鑑賞」(1) 領域の特性と各学年の学習内容
9	学習指導案(1)	学習指導案の構成と理解・作成および参考作品制作と学習評価について
10	表現の発達段階(情報機器を使用して)	子どもの成長とカリキュラム (1)表現の発達特性 (2)学びの連続性
11	表現の基礎的知識	造形要素・造形原理および色彩論
12	学習指導案(2)	学習指導計画案および参考作品発表(模擬授業)
13	学習指導案(3)	学習指導計画案および参考作品発表(模擬授業)
14	学習指導案(4)	学習指導計画案および参考作品発表(模擬授業)
15	まとめ	授業の振り返りと、授業設計向上のためのレポート作成

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	図画工作科教育法				
担当者氏名	笠川 武史、千家 宏子				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	3年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 専門基礎-2 豊かな人間性の醸成 ○ 専門基礎-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

図画工作教育は、その活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力の育成を目指す。そのために、①学習指導要領の内容を把握し、指導に必要な知識を身につける。②子どもの感性を育み表現力を引き出すために造形・色彩理論を身につけ、作品制作を通して自己表現力を高める。③学習指導案計画を作成し発表する。この3点を重要視する。

《授業の到達目標》

- ・図画工作科の役割や特性をふまえ、指導計画を立て、題材研究を行えるようにする。
- ・図画工作科の学習内容について指導上の留意点を理解し、指導のための造形及び色彩理論を身につける。
- ・計画や理論をもとに制作し、教育現場で実践していく力を培う。

《成績評価の方法》

- ・平常点(受講態度など) 20%
- ・学習内容のまとめやシート、実践作品の内容 50%
- ・最終課題(発表及び学習指導案、レポート)の内容 30%

《テキスト》

「明日の小学校教諭を目指して 子どもの資質・能力を育む 図画工作科教育法」 萌文書林

《参考図書》

適宜、資料を配布する。

《授業時間外学習》

- ・日頃から、造形・色彩分野に興味や関心を持っておく。
- ・学習指導要領については、授業に沿って予習と復習を自主的に十分行い、内容を把握する。
- ・作品制作については毎回の授業がつながるように、振り返りと次回に向けての準備と工夫を心掛ける。

《備考（教員経験の有無）》

この教科は、中学校の教員経験に基づき構成しています。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	ガイダンス	図画工作教育の意義と目的・目標・内容と構成
2	造形遊び(1)	領域「A表現」(1) ア：造形遊び～思考力、判断力、表現力～ 身近な材料の基礎
3	造形遊び(2)	領域「A表現」(2) ア：造形遊び～技能～ 身近な材料の応用
4	絵に表す(1)	領域「A表現」(1) イ：絵や立体、工作～思考力、判断力、表現力～ 構想画(1)
5	絵に表す(2)	領域「A表現」(2)イ：絵や立体、工作～技能～ 構想画(2)
6	立体・工作に表す(1)	領域「A表現」(1) イ：絵や立体、工作～思考力、判断力、表現力～ 木を使って
7	立体・工作に表す(2)	領域「A表現」(2) イ：絵や立体、工作～技能～ 石などを使って
8	鑑賞(情報機器を使用して)	領域「B鑑賞」(1) 領域の特性と各学年の学習内容
9	学習指導案(1)	学習指導案の構成と理解・作成および参考作品制作と学習評価について
10	表現の発達段階(情報機器を使用して)	子どもの成長とカリキュラム (1)表現の発達特性 (2)学びの連続性
11	表現の基礎的知識	造形要素・造形原理および色彩論
12	学習指導案(2)	学習指導計画案および参考作品発表(模擬授業)
13	学習指導案(3)	学習指導計画案および参考作品発表(模擬授業)
14	学習指導案(4)	学習指導計画案および参考作品発表(模擬授業)
15	まとめ	授業の振り返りと、授業設計向上のためのレポート作成